

新しいシリーズが始まります！



# オトナ回 課外授業 2023

【受講料】各回500円 全自由席 【発売日】2023年1月13日(金)

※ 電話・ネット9:00~、窓口12:00 (サラマンカメイト・一般同時)

【チケットお求め】サラマンカホールチケットセンター 058-277-1110 (9:00~21:30)

## 【特別授業】建築家と考える文化と自然

2023年3月25日(土) 14:00~16:00 (受付13:30)

定員:80名

講師:伊東 豊雄(建築家) 聞き手:浦久 俊彦(文筆家)

会場:OKBふれあい会館3階・301中会議室

伊東豊雄氏の設計したみんなの森 ぎふメディアコスモスは、岐阜の広く穏やかな自然を想わせる特徴的なフォルムで市民を魅了し、「知と文化、絆」を育む拠点として親しまれています。「私にとっての建築とは、自然と建築とがひとつになること」と語る現代の建築界を代表する伊東氏の代表的な作品をたどりながら、これからの文化をともに考えます。



## 【シリーズ1】いま、宮澤賢治さんが生きていたら

2023年4月8日(土) 14:00~16:00 (受付13:30)

定員:80名

講師:吉成 信夫(みんなの森 ぎふメディアコスモス総合プロデューサー)

会場:OKBふれあい会館3階・301中会議室

混迷の現代。賢治なら、なにを語り、どう行動するでしょう。詩人、童話作者で、演劇や音楽を実践し、科学者で宗教家でもあった宮沢賢治。没後90年の今年、あらためてその足跡をたどってみます。



【関連公演】「宮澤賢治のみた夢」2023.4/27(木)19時開演

ピアノ:亀井聖矢、ヴァイオリン:波馬朝加、チェロ:小野田遥子  
朗読、歌:蛭牟田実里

## 【シリーズ2】音楽で描く肖像画

2023年5月26日(金) 14:00~15:30 (受付13:30)

定員:30名

講師:中野 振一郎(チェンバリスト)

会場:サラマンカホール(ステージ)

世界を代表するチェンバリストが、演奏と軽妙な解説で贈るレクチャー&ミニコンサート!

ピアノの発明よりずっと前にヨーロッパで誕生し、バロック時代まで愛された鍵盤楽器チェンバロ。その名曲の宝庫となった18世紀ヴェルサイユでは、どのような作曲家が活躍したのでしょうか。大作作曲家フランソワ・クーペランの音楽、またチェンバロ作品として多く書かれた「ポルトレ」(肖像画)を紹介しながら、優雅な宮廷音楽の世界に迫ります。



## 【シリーズ3】ウィーン・フィルのお話

2023年6月4日(日) 14:00~16:00 (受付13:30)

定員:40名

講師:奥田 佳道(音楽評論家)

会場:OKBふれあい会館14F・展望レセプションルーム

NHKで放映の「ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート」解説者として、またNHK-FMやラジオ深夜便でもお馴染み!音楽評論家 奥田佳道氏がウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の歴史をたどり、その魅力について語ります。



【関連公演】「folkハルト・シュトイデ ヴァイオリンリサイタル」

2023.6/13(火)19時開演  
ウィーン・フィル第1コンサートマスター シュトイデがサラマンカホール初登場!

【主催】サラマンカホール  
岐阜市藪田南5-14-53

ネット予約は公式サイト「サラマンカ・オンラインチケット」で

サラマンカホール

検索



【ご来場の皆様へ】新型コロナウイルス感染防止対策ご協力のお願い  
本公演は、国・県・業界団体のガイドラインに則って開催いたします。  
ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いいたします。  
詳しくはサラマンカホール公式サイト、当日の館内掲示にてご確認ください。

# 新シリーズ オトナの課外授業 2023 講師を紹介します!

【特別授業】3月25日(土)

## 伊東 豊雄

建築家

1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」、「多摩美術大学図書館(八王子)」、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」(岐阜)、「台中国家歌劇院」(台湾)など。現在、「水戸市民会館」、「茨木市市民会館跡地エリア整備事業」、「南洋理工大学南校舎棟」(シンガポール)などが進行中。日本建築学会賞(作品賞、大賞)、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、王立英国建築家協会(RIBA)ロイヤルゴールドメダル、ブリツカー建築賞、UIAゴールドメダルなど受賞。2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築を考える場として様々な活動を行っている。



【シリーズ1】4月8日(土)

## 吉成 信夫

みんなの森 ぎふメディアコスモス  
総合プロデューサー

1956年東京都大田区生まれ。東京のコンサルタント会社役員等を経て1996年に岩手県東山町(現一関市)へ家族とともに移住。「石と賢治のミュージアム」研究専門員を務め、構想段階から事業を推進。2001年には宮澤賢治と環境共生を理念とした「森と風のがっこう」を開校。県立児童館「いわて子どもの森」初代館長。NPO法人岩手子ども環境研究所(森と風のがっこう)理事長就任。2015年から5年間の岐阜市立中央図書館館長を経て2020年より現職。スナフキンとカフェと旅が好き。著書に「ハコモノは変えられる!子どものための公共施設改革」



【シリーズ2】5月26日(金)

## 中野 振一郎

チェンバリスト

1990年「大阪文化祭金賞」受賞。1991年「ヴェルサイユ古楽フェスティバル」クーブラン・サイクルで「世界の9人のチェンバリスト」の一人に選出。2000年「ゴルトベルク変奏曲」レコードアカデミー賞受賞。2003年「バッハ・フェスティバル・ライプツィヒ2003」に出演。2004年「平成16年度文化庁芸術祭・大賞」受賞。2009年『パーセル作品集』第47回レコードアカデミー賞。2010年『チェンバロをひこう～憧れの楽器をはじめめるための名曲集』(音楽之友社)出版。2020年から『フランソワ・クーブラン:クラヴサン曲全集』のCD収録(長期企画)をサラマンカホールで開始。

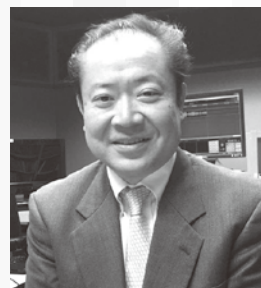


【シリーズ3】6月4日(日)

## 奥田 佳道

音楽評論家

東京生れ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。くらしき作陽大学講師、エリザベト音楽大学講師を務めた。NHK、日本テレビ、WOWOW、クラシカ・ジャパン、MUSIC BIRDなどの音楽番組に出演。20年以上に渡ってウィーン・フィル ニューイヤーコンサート生中継の解説をFM、BS、Eテレのいずれかで行った。2019年はBS4Kザルツブルク音楽祭ウィーン・フィル生放送の解説を担当。これまでにNHK-FM「オペラ・ファンタスティカ」のパーソナリティをつとめた。現在日曜朝のNHKラジオ「音楽の泉」、「ラジオ深夜便<クラシックの遺伝子>」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」(音楽之友社)ほか。



今後の開催情報

**シリーズ4** フリーコンサート  
7/14(金) 「古澤巖 カルテットを聴いてツト!」(無料)

**シリーズ5** 子供と一緒に課外授業  
8/26(土) ひびのこずえ(コスチュームアーティスト)ワークショップ

**シリーズ6** 大倉源次郎(大倉流小鼓方十六世宗家人間国宝)  
10月予定

**シリーズ7** 岡田暁生「すごいジャズには理由がある」  
11月予定 ジャズピアニスト(フィリップ・ストレンジ)の演奏付き

**シリーズ8** 木場大輔(胡弓奏者)「胡弓の魅力」  
2024年1月予定

交通アクセス・駐車場

